

常任委員会

総務

財産の減額貸付けほか

議案第6号 財産の減額貸付け

(提案理由) 特別養護老人

ホーム用地として社会福祉法人に貸付けしている敷地について施設開設後の安定的運営を確保するため減額貸付けしようとするもの。

■委員 要介護基準がかわったことによる社会福祉法人からの申し出の経緯は。

□当局 調整区域にある他の特養の敷地は無償であるが、本件については、駅前の一等地であるため、普通の財産として固定資産税の3倍で貸付けしている。特養の規模から当初より採算は厳しく、応募のない場合は減額も考えていた。また、待機者の減少や処遇の関係から職員が雇えないための空きもあるなど、今後の安定的経営を考えると支援が必要ということで提案した。なお、議決いただいた後は行政財産として管理する。

■委員 年間の減額は。

□当局 約140万円である。

■委員 シルバープラン7期の改定の影響は。

□当局 利用料の少ない方に影響は出るが、特養の入

所者には影響がないと考えている。

■委員 貸付け期間を30年とした理由は。

□当局 借地借家法に準じて30年とした。

■委員 施設整備の計画から見たベッド数の妥当性は。

□当局 待機者の中には、一応の申し込みの方も多く、医療的ケアの関係で入れない方もいるため一概には言えないが、7期では考慮する必要があると考えている。

◆賛成多数で可決

議案第11号 平成29年度一般会計 補正予算(第1号)

(提案理由) 歳入歳出予算、

継続費及び地方債の補正であり、既定の歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億5千476万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ473億1千476万円にしようとするもの。

■委員 愛宕駅西口駅前広場整備事業補助金の減額理由は。

□当局 補助内示額の減によるもので、事業については今年度中に設計を完了させないと連立とのすり合わ

せができず、やむを得ず単独費で設計することとした。

■委員 学校現場における業務改善加速事業委託金の計算方法は。

□当局 文科省の業務改善加速のための実践事業として750万円という枠が国から示されておりその中を市で分けて支出する予定である。

■委員 就学援助費の増額理由は。

□当局 新入学学用品費の単価が引き上げられたことにより小学新1年生の入学学用品費と6年生の入学準備金についての差額である。中学校費については、6年生のときに渡した入学準備金と中学校1年生の新入学学用品費の差額について支給するものである。

■委員 保健センター耐震補強等工事実施に当たる注意喚起とその間の使用の可否は。

□当局 基本的には保健センターの休館は考えていない。また、南側部分の補強工事の際にはがん検診車の妨げにならないよう繁忙期を避けて工事を実施したい。

◆賛成多数で可決

議案第7号 高規格救急自動車の購入

(提案理由) 車両の老朽化により、高規格救急自動車1台を更新しようとするもの。

■委員 車両の老朽化は何年と考えているのか。また、更新後の旧車両の取り扱い。

□当局 救急車については、10年を目安に更新している。また、更新後の旧車両については、予備車両として関宿分署に配備して、現在の予備車両は廃車して売り払う予定である。

■委員 高規格救急自動車に搭載する最新の装備はどのようなものか。

□当局 最新の機械というよりも、今まで搭載していた機械が10年経過し、老朽化しているための更新である。

■委員 現在救急救命士は何名いるのか。

□当局 救急車に乗っている者が32名、今年採用の職員を含むその他3名の合計35名となっている。

◆全会一致で可決

環境経済

高規格救急自動車の購入

常任委員会/会議録のご案内

教育文庫基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正

文教福祉



岩名中学校図書室

◆ 全会一致で可決

□ 当局 昭和37年にいびき博士で有名な池松先生から医院開業20周年を記念して教育文庫基金として20万円の寄付をいただいたものである。運用については、教育文庫の充実を図るものとして毎年約5千円の予算を組み各中学校の図書費としている。

■ 委員 教育文庫基金の設置から現在に至るまでの経緯は、
(提案理由) 基金への積立を行うため所要の改正を行うとともに、用字用語の整備をしようとするもの。

議案第4号
教育文庫基金の設置、
管理及び処分に関する
条例の一部改正

建

設

路線整理のため市道を認定・廃止

■ 委員 廃止する道路は、工場に払い下げようだが、

□ 当局 道路があることは、工場が昭和47年頃に建設された当時には把握していたと考えられるが、当時は関宿町の道路であり、合併と同時に市に認定替えをした時点においては把握しきれ

■ 委員 工場の中に市道が入っていることが分かった時期とこれまでの交渉の結果はどのようなものか。また、今回認定しようとする道路は工場の敷地で突き当たりとなるのか。

□ 当局 道路があることは、工場が昭和47年頃に建設された当時には把握していたと考えられるが、当時は関宿町の道路であり、合併と同時に市に認定替えをした時点においては把握しきれ

議案第8号及び
議案第9号
道路線の認定及び廃止



東高野字高礼西地先

◆ 全会一致で可決

□ 当局 畑の地権者は、道路が畑の端にあったと記憶されていたようであるが、今回道路を復元したところ、畑の中にあることが分かった。市としては、道路が確認できたことから、地権者に対し道路として管理しなければならぬことを説明した。しかし、地権者は畑を一体的に利用したい考えであるため、まずは路線を整理するための認定をお願いし、今後、対応を検討していきたい。

認定する道路は畑の中にあり市は道路として認識していなかった。認定する道路は今後管理していくのか、将来的には使用していくのか。

会議録をご覧ください

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は紙面の都合により要約しておりますので、詳しい内容は会議録をご覧ください。会議録は次の場所でご覧いただくことができ、8月下旬に配置する予定です。

◇市内各図書館

◇市内各公民館

◇谷吉会館、七光台会館、島会館、関宿会館

◇議会資料室(委員会会議録も含む)

◇情報公開コーナー(市役所総務課内)

会議録及び委員会の会議録は、市議会ホームページでもご覧いただけますのでご利用ください。